



JMRCA 平成 24 年度 1/8 スケール・エンジン・レーシング・カー 第 35 回全日本選手権兼総務大臣杯

☆ 主 催

日本モデル・ラジオコントロール・カー協会（略称・JMRCA）

☆ 競技運営

JMRCA 本部、JMRCA 関東支部

☆ 大会正式名称

JMRCA 平成 24 年度 1/8 スケール・エンジン・レーシング・カー 全日本選手権兼総務大臣杯

☆ 主 旨

本選手権によって厳正に全日本チャンピオンを選出すると同時に、この機会を通じ模型愛好者だけでなく、広く一般的にも技術を極めた模型の素晴らしさをアピールし、模型文化の発展の一端に寄与する事を目的とする。

☆ 期 間

5 月 26 日(土)・・・午前 8 時受付、送信機保管、開会式、ドライバーズ・ミーティング 予選 1～5 ラウンド

5 月 27 日(日)・・・午前 7 時 30 分送信機保管、予選 6 ラウンド後、勝ち上がり決勝開始、表彰式、閉会式。

☆ 場 所

千葉県市原市：ケイチューン・レーシング・スピードウェイ

千葉県市原市土宇 1100-51 TEL 0436-36-3600 URL <http://www.keitune.co.jp/> Mail info@keitune.co.jp

☆ 競 技

JMRCA 競技規則、及び大会特別規則に基づき行われる。

☆ 種 目

JMRCA 規定による、1/8 スケール・エンジンレーシング・カー(JMRCA 競技規則・第 10 章)

☆ 参加資格

- ① JMRCA 会員で JMRCA 各支部主催の地区予選を通過した選手。
- ② 平成 23 年度の同選手権で最終成績上位 10 位までの選手は、シード選手として予選を免除され、平成 24 年度の同全日本選手権に参加出場権が与えられる。
- ③ JMRCA 本部が認めた選手

☆ 参加費

選手 1 名につき・・・・・・¥ 14,000

☆ 申し込み

参加者は 4 月 13 日(金)までに、所属支部に本申込書に参加費を添えて申し込むこと。なお、各支部葉 4 月 27 日(金)までに参加者の取り纏めをし本部事務局に一括して申し込む事。4 月 27 日(金)までに支部より一括申込のない場合は、本大会の参加出場の権利を放棄したものとみなし、貴殿の出場資格を取り消し、他の選手に出場権を与えます。

日本モデル・ラジオコントロール・カー協会

大会特別規則

1.受付時間

受付時間を厳守し、登録、車検等を時間内に受けられなかった場合は、出場資格を停止する。
選手は受付時に、必ず JMRCA 会員証を係員に提示の事。
受付時間を厳守し、登録、車検等を時間内に受けられなかった場合は出場資格を停止する。代理人の受付も認めるが、コースマーシャルの義務、及びドライバーズミーティングの代理参加も行う。
なんらかの理由により受付に遅刻もしくは、参加できない場合は、選手権会場に必ず連絡すること。

2.大会ゼッケン

- a 大会期間中の無線機、車体、等の管理は、大会選手リストで割り当てられた大会ゼッケンを使用する
- b 大会ゼッケンは受付時に配布され無線機の見やすい位置に必ず貼ること
- c 大会期間中、選手は大会ゼッケンが印刷された ID パスを常に見やすい場所に装着すること。

3.無線操縦機器

使用される全ての「無線操縦機器」は、国内に於いて認定された「周波数」を使用する事
本大会に出場する選手は、全員予備の周波数(27&40MHz モジュール交換式が最適)を持参する事。(バンド交換が出来ない場合、レースに参加不可)
2.4GHz 帯の使用を認める。(ただし財団法人日本ラジコン電波安全協会により公認された機器に限る)
競技期間中は、指定された時間内に於いて全ての送信機(予備を含む)を回収保管する。但し、競技者の事情により返却が必要な場合は「競技委員長」に申し出て、許可を得てから該当競技者に返却される。
電波トラブルの申告はレースがスタートする前までに競技委員長に申告のこと、レーススタート後のクレームは一切受け付けない

4.競技

競技時間は下記のとおり、但し競技委員長が認めた場合はこの限りではない
予選：スタータースタート 5 分間
決勝：1/256～1/4 ファイナルは 10 分間耐久、1/2 ファイナルは 20 分間耐久、グランドファイナルは 45 分間耐久

雨天による中断(予選)

- a ラウンド中に雨天等による中断及びコースコンディションが大きく変化した場合はそのラウンドすべてをキャンセルとする。
 - b レースの再開は路面の状況により、競技委員長の判断により全員走行によるウォームアップランを行うこともある。またコンディションによっては、ウォームアップなしで中断したヒートの次のヒートからレースを行う場合もある。
- 天候、その他の事情によりレース実行が困難になった場合は、1ラウンド終了時をもって大会の成立とする。
決勝トーナメント時にレース続行が困難になった場合は、予選結果で順位を決定する。メインファイナル・レース時はレースの 1/2 経過後は中断時点の成績により順位を決定する。1/2 以下の場合は予選メインファイナル順位とする。

5.消音機(マフラー)

出場する車は JMRCA 公認マフラーかまたは IFMAR 公認の(FEMCA EFRA ROAR のエキゾストホモロゲーションに記載されている物)マフラーの何れかを装着しなければならない

6.競技方法

出走方法

- a コースインは、スタート 3 分前-コースオープンのアナウンスの指示に従いコースインし、ウォームアップする。その後助手は、フラッグマンの指示に従いスタート順に競技車をスタート場所に待機させる。
- b 予選時のスタートは「スタッタースタート」とし、オフィシャルの指示に従ってスタートする。決勝メイン、及びファイナル時は「グリット」式スタートとし、音もしくは旗のスタート合図に従い決められた位置よりスタートすること。
- c 組み合わせは、受付後、コンピューターによる自動組み合わせで行う。練習走行出走順は各組ゼッケン 1 番の選手による抽選を行い、各ヒートの出走順を決定する。練習走行終了後、ベストラップタイムを基に組

み分けを行いその後 1・2 ラウンドのベストタイムにより 3-5 ラウンドの組み合わせを変更する。2 日目の予選は 1 日目の成績を基に組み合わせ変更を行なう。

- d 予選出走順 予選第1ラウンドに於いては、カーゼッケン順にフラッグマンの指示に従い、スタートする。次ラウンドに於いては直前ラウンドの成績順にフラッグマンの指示に従い、スタートする。但しヒート組み替えを行なった場合は組み替え後のカーゼッケン順にスタートし、その後のヒートは直前ラウンドの成績順にフラッグマンの指示に従いピットレーンスタートする。注:先頭車が1周目のカウントを行う前にスタートできなかった場合ペナルティーが科せられる。
- e 5 分間のタイムアタック開始。その組の先頭車のスタグガー読上げ開始から 6 分でタイムアウトとし計測を打ちきる

予 選

有効ラウンドのうちのベスト 1 ラウンド成績による

- a 予選ラウンド中、ベスト1ラウンドの成績(周回数ならびにタイム)によって予選順位を決定する。
- b2 名、あるいはそれ以上の同タイムの競技者がいるときは、そのドライバーのセカンドタイムによって順位を決定する。

グランドファイナルシード

決勝レースが勝ちあがりで行われるエンジンカテゴリーでは、予選上位 2 名がグランドファイナルヘシードされる

決 勝

予選結果によりグランドファイナルにシードされる上位 2 名を除きA、Bブロックに各7名を振り分けトーナメント表が決定される。最下位ファイナルが7名未満の場合、直ぐ上のA&Bブロックファイナルに競技者を振り分け、7名以上の場合1ブロックとする。

1/2 メイン終了後、グランドファイナルドライバー(10 人)に 5 分間の練習走行の時間が与えられる。予選 1.2 位の選手はランチタイム時に、20 分間の練習走行をする事ができる。

操縦位置ならびに送信機の管理

- a 予選日では、操縦台での操縦位置はスタートの早い競技者に優先権を与え、任意の場所において競技を行うことができる。ピット位置も同様とする。
- b 決勝日では、予選結果及び勝ち上がり結果の上位より操縦台での操縦位置の優先権を与え、任意の場所において競技を行う。ピット位置も同様とする。
- c 操縦台には該当選手、及び担当役員以外は上れない。
レース中はゴールのコールを受けても、レース終了のコールがあるまで、操縦台から降りてはならない。尚、走行不能になった選手も同様、操縦台上で待機する事。待機する場所は操縦台後方とする。但し、役員の承諾の上で、操縦台を降りることが認められる。
- d 該当レース前のレースがスタート後、競技車は待機場内で待機。送信機は前のレースがスタート後に該当選手に渡す。送信機受領後の選手は操縦台横で待機し、役員の指示に従い操縦台に上がる事。なお、操縦台上の位置はスタートの早い選手を優先とする。

助 手

- a 予選及び決勝(セミファイナルまで)は競技者1名に助手1名を認め、指定された区域で競技者の側近に位置する事。
- b グランドファイナルに於いては競技者1名につき助手 2 名を認め、指定された区域で競技者の側近に位置する事。尚、助手は指定された区域に於いて、競技に必要と認められる備品の持込を許可する。
- c 他ドライバー、助手の妨げとなるような発言・行動はしてはならない。万一このような行動等が見受けられた場合はペナルティーを科す場合がある。

再出走

競技中の再出走は全て「ピットレーン」より行う。但し、該当車以外の全ての競技車が競技を終了した場合は再出走を認めない。

成 績

- a 予選:記録された全ての成績を有効と認める、また、規定走行時間に満たない記録の優先順位は周回数、走行時間の順で決定する。
- b 決勝:記録された全ての成績を有効と認め、そのメインでの成績を最終成績とする。但し、優先順位は周回数、走行時間の順で決定する。

その他

- a レース中、マイラップスの発信機(トランスポンダー)は使用する競技者の責任に於いて管理する。

- b 競技期間中の進行は全て「主催者」によって行われ、当競技会に参加する者は如何なる場合でも指示に従う事。
- c 競技車は競技期間中、競技委員長の要請ある場合は如何なる時でも検査を受けなければならない。
- d レース終了後、車検を受けなければならない。

罰 則

<競技中>

競技審査委員の一任とする

<進行時>

- a 運営、進行上の妨げ行為：発覚時に即「警告」送信機、の返却の遅れ。コースマーシャル定位置に付くのが遅れる。スタート時に助手が速やかに競技車から手を離さない時等に適用する。
- b.危険と判断される行為（走行を含む）が行なわれた場合は、該当選手のJMRCA公認競技会等への参加を禁止する。
- c 発信機(トランスポンダー)の脱落等により、正常に計測されない状況が生じた場合は、該当競技の記録を無効として記録しない。
- d 競技審査委員が当協会の精神に不適合と判断される行為が発覚した場合、該当者に対し競技委員長より「警告」を与える。尚、同種の「警告」を合計3回受けた時点で、失格とする。
- e 競技中保管された送信機に触れることができるのは出走時のみとする、ただし充電等の作業がある場合は役員の承諾を得ること
- f 競技期間中に「競技審査委員」が不適合と認められた行為に対し、競技委員長に報告、競技委員長は報告に基づき「罰則」または「警告」を該当者に対して執行出来るものとする。

7.告 知

全ての告知は「口頭」または「掲示」で行われた時点より有効とし、該当者はその指示に対し、速やかに従う事。

8.再レース

計測システムのトラブル時
コース損傷によるトラブル時
主催者が特に認めた場合。

9.抗議、抗告の方法及び手続き

抗議を行うときは、書面により抗議保証金(5000 円)を添えて、各結果発表後 10 分以内に競技審査委員に提出しなければならない。抗告出来る範囲(計時、周回、フライング、ショートカット等)は口頭で競技審査委員に申し出る事が出来る。

9.コースマーシャル

- a コースマーシャルは、ヒート終了後走行した選手もしくは助手(代理人を含む)が速やかに行うこと、コースマーシャルはポストに用意されたビブスを着用し、安全に留意しながらレースのスムーズな進行に協力すること。
- b グランドファイナルのコースマーシャルは、受付時の抽選により決定する。
- c コースマーシャルは、動き安い服装で行うこと、サンダル履き、首にタオルをかけるようなことは不可、また、故障車両の修理も許されない。
- d エンジンストールや故障したマシンをピックアップとした場合、隣合わせたポストのマーシャルと協力しピットまでマシンをリレーし、速やかに助手の手元に届ける努力をすること。

11.その他

競技期間中は本協会の承認のもとで運営されるものであり、全ての行為は「JMRCA競技規則」に準じ行われるものとする

自己が使用する全てのRC機材は、自己の責任に於いて管理し運用する事。

主催者は前記 責に於いて発生した事故、盗難に対し一切の責は負わない。

RC 保険加入の事

全日本選手権期間中は、競技役員が連絡用のためトランシーバーを使用するので、参加者(選手、助手及び一般観客)は会場内での通信用無線機(トランシーバー等)の使用を禁止する。

JMRCA 競技規則・第 10 章

10-1 出場するレーサー(競技車)

1/8 スケール エンジンレーシングカー

10-2 動力

使用するエンジンは液体燃料による内燃型で、2 サイクル、または 4 サイクルとし、最大総排気量は 3.5cc とする。キャブレターの口径は最大 9mm まで。

10-3 燃料規定

燃料はメタノール、オイル(潤滑油)、ニトロメタンだけで構成されていなければならない。ニトロメタン含有量は最大 25%以内とする。混合の比重は 0.918 以下とする。ニトロメタン含有量の測定基準は比重とする。

このルール履行のために、オーガナイザーは選手権期間中、燃料の抜き打ち検査を実施できる。分析のためにサンプルと比較用サンプルを収集し、テストによって上記以外の成分が含まれた燃料を使用したことが判明した場合は、将来の全日本選手権レースに出場禁止などの処置がとられる。

10-4 燃料タンク容積

燃料タンク容積とは、タンクからキャブレターまでの燃料パイプ、燃料フィルターを含み、最大 125cc でなければならない。タンク内の固定されていない内容物は認められない。車検で 125cc をオーバーした場合、一定時間後に再度車検を受けることが出来る。

10-5 消音器(マフラー)

全ての車両は最新の IFMAR 公認マフラーリストに掲載された(FEMCA、EFRA、ROAR のエキゾストホモロゲーションに記載されたもの)マフラーのみ使用可。公認されたマフラーの全長で 8mm、テールパイプの長さは 2mm まで短くすることは出来るが、それ以外の改造は一切禁止とする。

10-6 車体の専用

同一車体を共用で使用することは、いかなる理由に関わらず許されない。

10-7 車体規定

競技車の仕様は本章、および付則項目に示す条件を満たし、かつ安全上完全に整備されていなければならない。

競技車の仕様

ボディーは、FISA、IMSA、CANAM に出場している実車のスポーツカー、プロトタイプカーの 1/8 スケールでなければならない。全ての箇所の寸法で 10%の誤差が認められる。

競技車の形状

全てのレーサーは、実車のイメージを損なうような極端な改造を行ってはならない。ただし、RC カーとして機能上、必要と認められる部分はその限りではない。

競技車の改造

- ①ボディは柔軟性のある材料で構成され、適切に塗装されていなければならない。
- ②前方ウインドスクリーンは「前方視界」を得るため、透視可能なものでなければならない。また、側面および後面のウインドは透明もしくは解放でなければならない。ただし、実車が透明ウインドを持たない場合は、この限りではない。
- ③1/8 スケールの少なくとも三色以上の塗装が施された、実物感のある(少なくともヘルメットと肩が有ること)ドライバー人形をボディの適切な位置に搭載しなければならない。人形の頭部を燃料注入口キャップやその他の用途のために取り外し式にしてはならない。クローズドボディの場合はドライバーを搭載する必要はない。
- ④ボディ本体には、いかなる付加物も認めないが(フロントエアダム、サイドダムを含む)ウイング、スポイラー、ボディマウント、ボディ補強材、競技会の計測用機器はこの限りではない。ただし、付加するウイング、スポイラーは、いずれか一種しか使用できない。その材質はプラスチックの類であること。また、それらをボディに装着する場合は、柔らかい材質、または非金属で装着しなければならない。
- ⑤ボディ上面から見てシャーシ、タイヤ、その他の部品がボディからはみ出してはならない(ボディ後部、フロントバンパーは除く)。
- ⑥全ての競技車はシャーシにボディが的確に装着されていなければならない。
- ⑦ロールオーバーバーを装着するときは、その位置はドライバーの後方、あるいは想像上のドライバー位置の直後でなければならない。
- ⑧オリジナルの実車がそのようにデザインされているなら、(実車のタイヤハウスがふさがれている場合を除き)全てのボディは前輪と後輪部分を切り抜かなければいけない、ホイールアーチの半径はタイヤより 13mm 以上大きくてはならない。
- ⑨オリジナルの実車にないボディのカットアウトでも下記の場合はみと認められる。
a—シリンダーヘッドとエアフィルターのためのカットアウトは、その輪郭に沿った形状で、ボディとの隙間

は 20mm 以下でなければならない。

b---エアリアル取り付けのためのホール(アンテナ用の穴)は直径 20mm 以下でなければならない。

c---受信機用スイッチのためのホールは直径 25mm 以下でなくてはならない。

d---燃料注入口用キャップのためのカットアウトは、その輪郭に沿った形状でボディとの隙間上から見て 20mm 以下でなければならない。

e---エクゾストパイプのためのホールは、その輪郭に沿った形状で、ボディとパイプの隙間は 25mm 以下でなければならない。

f---ロールオーバーバー取り付けのための細長い穴は 20mm 以下の幅でなければならない。ロールバーはシリンダーヘッドより 50mm 以上、地上より 190mm 以上高い位置にあってはならない。

⑩ IFMAR のレギュレーションに合致したウイング、またはスポイラーを1つだけ取り付けることができる。

⑪ 全ての競技車は動力の伝達により、タイヤを駆動することによって走行するものでなければならない。

⑫ 全ての競技車は、任意の方法によるブレーキ装置を装備しなければならない。ただし、タイヤ(ホイール)の回転を制御するものでなければならない。

⑬ 全ての競技車は出走状態において、静止していることが出来なければならない。

⑭ 車の前部には観衆や他の競技者に接触したときに、その被害を最小限にするための効果をもつバンパーを装着しなければならない。バンパーは柔軟性のある素材で構成され、全ての角とエッジは丸く加工されていなければならない。バンパーの輪郭はボディの輪郭に沿っていること。バンパーはボディより 5mm 以上突出してはならない。

⑮ タイヤ

フロントタイヤ…最大幅 37mm リヤタイヤ…最大幅 64mm

タイヤは側面の文字などを除いて黒色でなければならない。

⑯ リム

リムの直径は 54mm を越えてはならない。取付用ボルトあるいはその他の取付用機器はホイールリムの外側へ突出してはならない。ホイール・リムはタイヤから 1.5mm 以上外側に突出してはならない。

⑰ IFMAR(EFRA、ROAR、FEMCA)に公認されているインテークサイレンサーを無改造でキャブレターに装着しなければならない。

車体寸法と重量

車体各部の寸法は、10-7 に示す条件を満たしながら、いかなる場合も下記の数値に適合しなければならない。

外形寸法

① ホイールベース…270~330mm

② 最大幅…267mm

③ 最大高…190mm、(車体を 10mm ブロックの置いた状態で測定・エアリアルを含まず)
ウイング、スポイラー寸法

① 最大幅…267mm

② 最大長…77mm

③ 最大高…170mm (車体を 10mm ブロックの置いた状態で測定)

④ 最大傾斜角…60 度

車体最低重量

全ての車は走行状態において、2525g 以上でなければならない。ただし、計測用発信器を取り付けた状態で、燃料を除いた重量。

ボディ寸法

① 最大高…160mm (車体を 10mm ブロックの置いた状態で測定)

測定は、高さ 10mm のスペーサーの上にシャーシを水平に置いた状態で行う。

② 最大幅…267mm

注記

再車検時に外形寸法、最低重量などの違反があった場合、それがレース中の不可抗力によるダメージに起因している時は考慮される。ただし、重りなどの落下は認めない。

コースゼッケン

① 全ての車は、車体の右横、左横、前方の 3ヶ所の見やすいウインドーを除く場所に、コースゼッケンを貼付しなければならない。

② コースゼッケンは、大会主催者より用意された物を使用する事。

安全

全ての車は、他の競技者の車に対して危険であってはならない、また損傷を与えないように組み立てなければならない。

改 造

車は規定範囲内で改造しても良い。ただし、コースマーシャル、観客、他の競技者の車などに危険を及ぼすと判断される改造等は許可されない。

10-8 走行規定

- ①フライング、コースカット等には、ペナルティーが科せられる。
- ②バッドドライビング等の警告を3回宣言された選手は、本大会を失格とする。
- ③コースマーシャルは、前ヒートの選手(代理人でも可)が行う事。又、コースマーシャルは、次のヒートがスタートするまでに、指定されたマーシャルポジションに付かなければならない。コースマーシャルを怠った選手には、ペナルティーが科せられる。
- ④走行中にドライバー人形、ウイング、ボディなどが脱落した場合は速やかにピットインすること。修理後、再スタートする場合は、ピットエリアからスタートすること。ピットインの指示や、ピットエリアからのスタート方法に従わなかった場合は、ペナルティーが科せられる。
- ⑤混信などの電波トラブルの申告はレース・スタートの前に行うこと。レースがスタートした後の申告は受け付けない。

10-9 禁止事項

四輪ブレーキ。

液冷エンジン。

ハイドロリックシステム

3サーボ以上の使用

3スピード以上のトランスミッション。

電動ジャイロスコープの使用

決勝クリスマスツリー

GRAND ファイナルの 9/10 グリッドは、1/2 ファイナル A B ブロックの各勝ち上がり上位 3 名を除いた選手のナンバー1 タイム選手が 9 番グリッドならびにナンバー2 タイム選手が 10 番グリッドとなります

1/2 ファイナル以下の総合順位は A B ブロックの同ファイナル内の勝ち上がらない選手のタイム順となります

グランドファイナル#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10												
予選/勝ち上り順位	1	2	1/2A-1	1/2B-1	1/2A-2	1/2B-2	1/2A-3	1/2B-3	○	○												
	A ブロック					B ブロック																
1/2 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	3	5	7	9	11	13	15	○	○	○	11~22	4	6	8	10	12	14	16	○	○	○	
勝ち上がり	1/4A 上位 3 名					1/2A へ勝ちあがり					↑	1/4B 上位 3 名					1/2B へ勝ちあがり					↑
1/4 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	17	19	21	23	25	27	29	○	○	○	23~37	18	20	22	24	26	28	30	○	○	○	
勝ち上がり	1/8A 上位 3 名					1/4A へ勝ちあがり					↑	1/8B 上位 3 名					1/4B へ勝ちあがり					↑
1/8 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	31	33	35	37	39	41	43	○	○	○	38~52	32	34	36	38	40	42	44	○	○	○	
勝ち上がり	1/16A 上位 3 名					1/8A へ勝ちあがり					↑	1/16B 上位 3 名					1/8B へ勝ちあがり					↑
1/16 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	45	47	49	51	53	55	57	○	○	○	53~67	46	48	50	52	54	56	58	○	○	○	
勝ち上がり	1/32A 上位 3 名					1/16A へ勝ちあがり					↑	1/32B 上位 3 名					1/16B へ勝ちあがり					↑
1/32 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	59	61	63	65	67	69	71	○	○	○	68~82	60	62	64	66	68	70	72	○	○	○	
勝ち上がり	1/64A 上位 3 名					1/32A へ勝ちあがり					↑	1/64B 上位 3 名					1/32B へ勝ちあがり					↑
1/64 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	73	75	77	79	81	83	85	○	○	○	83~97	74	76	78	80	82	84	86	○	○	○	
勝ち上がり	1/128A 上位 3 名					1/64A へ勝ちあがり					↑	1/128B 上位 3 名					1/64B へ勝ちあがり					↑
1/128 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	87	89	91	93	95	97	99	○	○	○	98~112	88	90	92	94	96	98	100	○	○	○	
勝ち上がり	1/256A 上位 3 名					1/128A へ勝ちあがり					↑	1/256B 上位 3 名					1/128B へ勝ちあがり					↑
1/256 ファイナル #	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
予選順位	101	103	105	107	109	111	113	115	117	119	113~	102	104	106	108	110	112	114	116	118	120	